

株主総会の会場運営や、株主や投資家向け冊子の印刷においてグリーン電力を利用することで環境に配慮しました。

株式会社資生堂  
 IR部 株式グループ  
 課長 山崎 直実 様



## 株主総会や投資家向け冊子の環境負荷を カーボン・オフセットすることで、グリーン化を実現

### 顧客

株式会社資生堂

「資生堂 エコポリシー」を1992年に定めて以来、“すべての事業活動において地球環境の保全に努めること”を基本とされている資生堂様は、今回株主・投資家向け活動のグリーン化を目指しました。

その一環で、ツバルの森のグリーン電力証書「ツバル-ネイチャーパワー」を利用し、カーボン・オフセットを行うことになりました。

カーボン・オフセットの対象は、株主総会の会場の運営で消費する電力、株主・投資家向け冊子の印刷で消費する電力です。

印刷物には、ツバルの森のグリーン電力証書の利用を示すロゴを掲載し、資生堂様の環境配慮活動をアピールされました。

### ニーズ

株主・投資家向け活動の環境負荷を低減させたい。

### ソリューション

ツバルの森が提供するグリーン電力証書「ツバル-ネイチャーパワー」により（約3万6kwh）カーボン・オフセットします。



（主な対象）

- ・株主総会の会場における消費電力
- ・招集通知、決議通知の印刷における消費電力
- ・「株主・投資家のみなさまへ」の印刷における消費電力
- ・アニュアルレポートの印刷における消費電力 等